

歴史的資源を活用したまちづくりにより新たな回遊ルートを創出

— 歴史的資源に配慮した白壁と展示休憩施設の整備(水戸市) —

整備前



遊歩道
入口



整備後



白壁



位置図



正門
展示施設



【課題】

◆水戸市の中心市街地は、大型商業施設や国立病院等の郊外移転により、徐々に求心力が弱まりつつある。

【事業内容】

◆弘道館・水戸城跡にある歴史的資源を活用し、市立第二中学校において水戸城跡の景観に配慮した門や白壁塼、水戸城の発掘調査に関する遺物等を展示する展示休憩施設の整備を実施した。

【整備効果】

◆回遊性に優れた安全で快適な歩行者空間の整備を進めたことで、この展示休憩施設には、休日には100人前後の観光客が訪れ、新たな回遊ルートが創出され、交流人口の拡大に大きく寄与している。

二の丸周辺景観整備

